



地域で安心して暮らすには、日頃のちょっとした声かけや、顔を合わせる機会が大切です。この通信では、そうしたつながりが感じられる地域の行事や取り組みを「地域のお宝」として紹介しています。

毛里田地区



災害支援キッチンカー！有事の際は被災地支援、平時は「こども食堂」として活動予定です。来場者は走行体験・車内見学ができました。

有事の際に土砂を除去するパワーショベルカーが会場に展示されました。子どもたちが操縦してスーパー・ボーラーをすくう体験コーナーは、大変好評でした。



令和7年11月15日（土）、NPO法人新田フードサポート主催のもと原宿町にある（株）シンコウギヤー駐車場にて「車両体験フェス」が開催されました。災害時に暮らしを支える車両の展示や、災害時に必要となるさまざまな知識を楽しく学べる体験型フェスです。

特に注目すべきは災害支援キッチンカーです。これは地元企業・教育機関・地域が一体となって製作した日本最大級の車両です。防災対策の重要性が高まる中、時代のニーズに応える「車両体験フェス」をご紹介します。

NPO法人新田フードサポート代表 星野 茂さん



令和7年初めに「NPO法人新田フードサポート」を立ち上げました。会員は13名で、そのうち半数は私の出身校である、太田小学校および太田工業高校の出身者で、半数は一般の方々で構成されています。

災害支援キッチンカーは、中古のテレビ中継車を購入し、関西ペイント様から塗料の協賛をいただき、太田工業電子機械科の生徒が群馬自動車大学校の先生の指導のもと、塗装を行うなどして整備を進めており、令和8年8月の完成を予定しています。

防災と暮らしを支える

「車両体験フェス」



★体験・チャレンジコーナー★

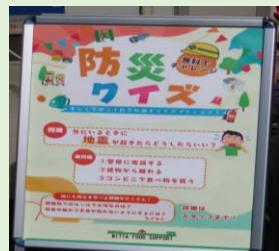
消防服試着体験



防災食体験



防災クイズにチャレンジ！



消防車の展示・消防服の試着体験コーナーでは親子連れが記念写真を撮影するなど、和やかな雰囲気に包まれていました。

実際に防災食を食した来場者からは、「防災食とは思えないほどおいしい」といった感想が多く寄せられました。

6種類のクイズ用紙があり、正解者にはプレゼントが配られました。クイズ形式で楽しみながら防災知識を学ぶことができる、有意義な企画でした。

フェスに協力した企業にお話をうかがいました



(株)シンコウギヤー
会長 梅澤孝一さん

(株)シンコウギヤーは歯車製造の会社ですが、新田フードサポートの星野さんと親交を深め、開催協力につながりました。今回は会社の敷地を会場として提供したところ、大勢の方が来場して、防災の大切さを学んでくれたと思います。今後も継続して協力していきたいと思います。

来場者にお話をうかがいました！



石田さんご一家

会場近隣のショッピングモールで配布されていたチラシを見て来場しました。会場では、子どもがパワーショベルカーに乗ってスーパー・ボールスキーを体験でき、非常に喜んで、何度も挑戦していました。

また、災害支援キッチンカーへの走行体験もでき、普段なかなか体験できない貴重な機会となりました。

重要!

地元企業が連携して立ち上げたプロジェクトでは、災害支援を目的としたキッチンカーが製作され、地元工業高校の生徒もその製作に参加したこと大きな関心を集めました。この取り組みは、参加者の防災意識を高めるとともに、今後の地域づくりにもつながる素晴らしい事例だと感じました。

